

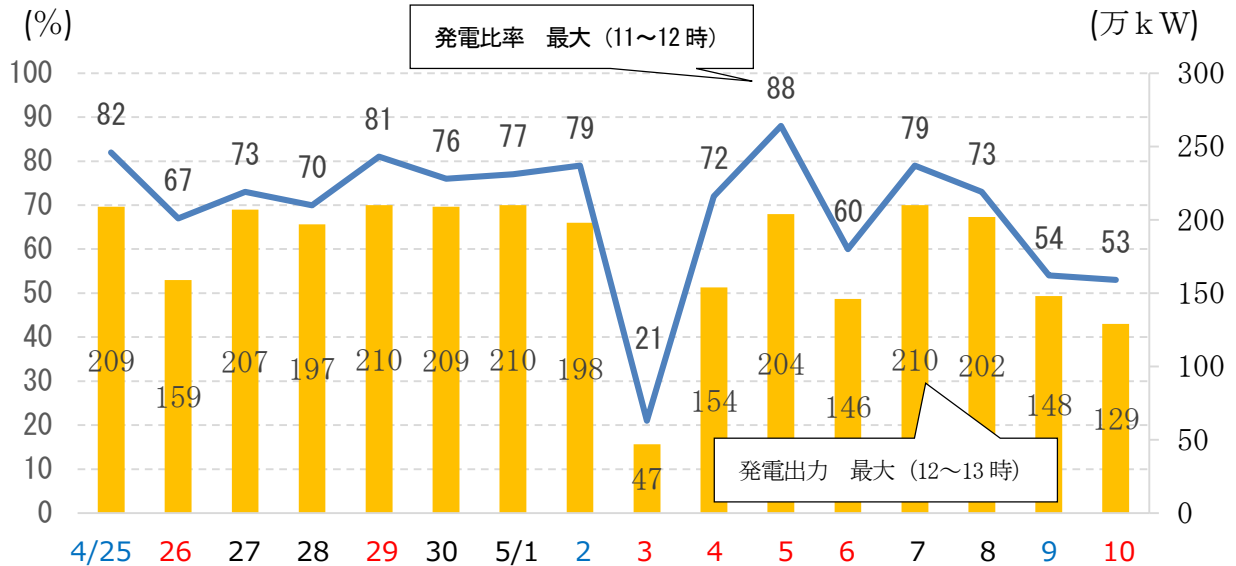
令和2年5月12日
四国電力送配電株式会社

太陽光発電の普及拡大に伴う大型連休期間中の需給への影響について（速報）

今年の大型連休期間中（4/25～5/10）、前半は概ね晴れましたが、後半は前線や低気圧の影響で曇りや雨となる日がありました。太陽光発電出力の電力需要に占める割合は、5月5日11時～12時に期間最大の88%、太陽光発電出力は204万kW*となりました。厳しい需給状況となりましたが、火力電源等の負荷調整、揚水発電所の揚水運転、および連系線の活用により、需給バランスの維持を図り、電力の安定供給を確保しました。

※太陽光発電の最大出力は5月7日12時～13時に210万kWを記録。

1. 四国エリア需要に対する太陽光発電比率および発電出力の推移（速報）



2. 四国エリア需要に対する太陽光発電比率最大日の需給バランス

(エリア送電端、万kW)

	令和2年5月5日(速報)		[参考] 前年度 令和元年5月5日	
	11時～12時 (太陽光比率最大)	4時～5時 (参考：需要最大)	12時～13時 (太陽光比率最大)	
エリア需要	232	249	213	
供給力	太陽光 (88%)	204	(88%) 187	
	風力	0	3	
	火力	143	172	
	水力	20	54	
	原子力	0	88	
	揚水発電	▲60	0	▲59
	連系線活用	▲75	18	▲131

(注) () 内はエリア需要に対する割合を示す。

以上